

講演規程

【一般演題、症例検討の座長・演者の方へ】

1. 講演時間

一般演題（口演）

発表7分（6分：予告ランプ、7分：終了時赤ランプ）

質疑7分

症例検討（相談）

発表5分（4分：予告ランプ、5分：終了時赤ランプ）

質疑8分

2. 機材・受付

<機材>

- 1) PCプレゼンテーションに限ります。スライド・ビデオでの発表はできません。
- 2) 画像に枚数制限は有りませんが、発表時間内に終了するようにご配慮ください。

<受付>

日時：9月5日（土） 12:00～最終演題開始30分前

9月6日（日） 8:30～最終演題開始30分前

場所：講演会場（ウェスティン都ホテル京都 2F 山城の間）内 PC受付

- 1) 講演者は、講演開始30分前までに、会場内左前方のPC受付にて動作確認を行ってください。
- 2) PC受付では、データの修正は出来ませんので、予めご了承ください。

3. 講演データの作成について

<講演データ持参（Windows）の場合>

- 1) 本会では、以下のOS、アプリケーション、動画ファイルに対応しています。
OS … Windows 7
アプリケーション … Power Point 2007・2010・2013
動画ファイル … Windows 7 標準で、再生可能なデータ
※ Macintosh 版 PowerPoint での作成は、映像に支障をきたす可能性がありますので、ご遠慮ください。
※ Keynote は、使用できません。
 - 2) 画面レイアウトのバランス異常や文字化けを防ぐために、OS 標準フォントをご使用ください。
※ 「MS・MSP明朝」、「MS・MSPゴシック」、「Times New Roman」、「Century」など
-

-
-
- 3) 本会でお持ち込み可能なメディアは、USBフラッシュメモリーのみです。
※メディアには、当日講演に使用されるデータ以外は、保存しないようにしてください。
 - 4) プレゼンテーションの他にデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクされている場合は、必ず元のデータも保存し、データを作成されたPCとは別のPCで事前に動作確認をお願いします。
 - 5) ファイル名には、演題番号・講演者名を以下の例のように入力してください。
※S1-1 京都 太郎のファイル名 → S1-1 KyotoTaro.ppt
 - 6) 会場のPCへのウイルス感染を防ぐため、必ずウイルス定義データを最新のものに更新した状態のセキュリティソフトで、事前にメディアにウイルスチェックを行ってください。
 - 7) PC受付では、ウイルスセキュリティを更新し、万全を期しておりますが、ウイルス定義されていない未知のウイルスに感染する場合がありますので、ご了承ください。
 - 8) 講演データは、PC受付にて会場内のPCに一旦保存し、本会終了後に責任をもって消去致します。

<PC本体持参（Windows・Macintosh使用）の場合>

- 1) 液晶プロジェクターとの接続には、Mini D-Sub 15ピン3列コネクタ（通常のモニター端子）が必要となります。PC本体の外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は専用の接続端子をご持参ください。
 - 2) 液晶プロジェクターの解像度は、XGA（1024×768）です。解像度の切り替えが必要な場合は、PC本体の解像度を予め設定しておいてください。
 - 3) PC本体の液晶画面に動画や画像が表示されていても、実際に外部出力されない場合があります。講演データを作成されたPC本体と当日持参されるPC本体が別の場合は、特にご注意ください。
 - 4) スクリーンセーバーならびに省電力設定は、予め解除しておいてください。
 - 5) ACアダプターは、必ず各自でご持参ください。
 - 6) 万一の場合に備え、必ずバックアップ用のデータ（USBフラッシュメモリー）をご持参ください。
-

4. 進行

- 1) 講演者は、座長の指示のもと、講演を行ってください。
- 2) 講演者は、講演開始15分前までに会場内最前列の次演者席にお着きください。
- 3) 講演データの投影は、オペレーターが講演者の登壇時に行います。講演者は、演題上のモニターで確認しながらマウスを操作し、発表してください。
(演台上にPC本体は、ありません。)
- 4) 座長は担当セッション15分前までに会場内最前列の次座長席にお着きください。
- 5) 座長は、開始のアナウンスが入り次第、登壇し、セッションを開始してください。

5. 質疑

- 1) 個々の発表後、個別に質疑が行われます。簡潔にご発言ください
 - 2) 質問者は、予め会場内の質問用マイクの近くでお待ちください。
-